

Micro&Fine Technology NIPPON SEISEN 日本精線株式会社

DATA (2018年3月末日現在)
 ■設立: 1951年6月
 ■資本金: 5,000百万円
 ■市場: 東1
 ■決算月: 3月
 ■単元株式数: 100株
 ■発行済株式数: 6,492千株
 ■従業員数: 816人

5659 にっぽんせいせん **日本精線**

■お問い合わせ先
 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-1-1
 日本精線(株) 総務部
 TEL.06-6222-5431 <http://www.n-seisen.co.jp/>

資料請求 読者プレゼント

株主優待

割当基準日3月末日

2,000円分のQUOカード

※2018年3月末日の優待品実績 (100株以上)

第14次中期計画 (NSR20) を新たに策定。No.1 継続のために

中期ビジョン Micro&Fine Technologyを追求するなかで、未来の高機能独自製品を生み出しつづけることを通して社会に貢献し、ステンレス鋼線No.1カンパニーの地位を継続していく。

中期スローガン 『NSR20』 ~Nippon Seisen Renewal~ 高機能独自製品の上方弾力確保・拡販と持続的成長のための生産基盤強化を目指す。

経営目標

- 連結ROS (経常利益/売上高) **10%以上**
- 連結ROA (経常利益/総資産) **10%以上**
- 連結配当性向 (配当/税引後利益) **30%程度**
- (連結) 高機能独自製品売上高比率 **70%以上**

Close-Up

合併10周年を記念した特別な株主優待を実施

当社では、2017年10月1日、旧大同ステンレス株式会社を吸収合併してから10周年を迎えたことを記念しつつ、株主の皆さまの長年にわたるご支援に感謝の意を表すため、2018年3月末日を基準日として、記念株主優待を実施しました。

対象となる株主に3,000円相当の商品または寄付のなから、いずれか1つをお選びいただきました

配当性向の目安を30%に引き上げます

当社が第14次中期計画 (NSR20) のもとで想定する株主還元の見方は、連結配当性向30%程度をめどとした還元となります。

1株当たり配当額の推移

年	第85期 (2015年3月期)	第86期 (2016年3月期)	第87期 (2017年3月期)	第88期 (2018年3月期)	第89期 (2019年3月期)
年間配当額 (円)	10	12	13	80	140
連結配当性向 (%)	23.2	23.6	22.5	26.2	29.2

※2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っており、第88期中間配当以前の配当金については、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載。第89期は予想値を記載

品質の高い製品づくりで社会の発展に貢献する『ステンレス鋼線』製造開発のパイオニア企業

日本精線は、ステンレス鋼線製造のパイオニアとして、創業以来長年にわたり培ってきた技術力と、新しい技術分野への挑戦により、常に業界をリードしてきました。

耐食性・耐久性に優れ、強度、展延性(柔軟でいろいろな形に変化できる性質)も兼ね備えたステンレス鋼線は、ネジやバネなどに加工され、自動車や航空機などの輸送分野、家電製品、デジタルAV機器、電子機器やエネルギー関連機械などの先端技術分野、化学機械、建設工作機械、医療機器、そして農漁業用機器まで、あらゆる分野で活躍しています。

当社の製品がこれらの産業の発展に貢献できたのは、当社が常に「品質の高い製品づくり」を使命としてきたからにほかなりません。「お客様にとって価値ある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献する」ことを経営の基本理念に、日本精線は未来を見据え、さらなる進化を目指します。

耐熱ボルト用材料と半導体用ガスフィルター 需要の大幅増に応えて生産能力を増強中

日本精線では、需要が大幅に増えている自動車向け耐熱ボルト用材料と、半導体製造装置で 사용되는超精密ガスフィルター (NASclean) の生産能力を増強するため、生産拠点のリニューアル工事を進めています。これら高機能・独自製品の能力増強や生産基盤強化などを目的に、今後3年間で約100億円の設備投資を計画しています。

半導体製造装置で使用するガスフィルターの世界的な需要増に応え、真空炉(中)やクリーンルーム(左)が増設された。耐熱ボルト材の熱処理能力も増強されることに(右)

投資家の皆さまへ

代表取締役社長 新貝 元

当社は1951年の創業以来、ステンレス鋼線をベースに高合金ワイヤなどの独自製品、金属繊維(ナスロン)などの高付加価値製品の供給を通じ、国内外のお客さまに価値ある商品とサービスを提供してきました。

私もはステンレス鋼線のトップメーカーとして、時代を先取りした高機能独自製品の提供を通じ、社会の発展に貢献するとともに、金属繊維の用途開発拡大、来るべき水素社会を見据えた要素技術開発に取り組んでいきます。

会社プロフィール

1951年、ステンレス鋼線の製造・販売を目的として大阪市旭区に「三信特殊線工業株式会社」設立。53年、日本冶金工業株式会社の資本参加を得て同社の系列入り。56年、本社を大阪市北区に移転。商号を日本精線株式会社と改称した。62年、東証、大証2部上場。71年に金属繊維(ナスロン)の販売を開始。その後半導体製造用ガスフィルター「NASclean」を開発し、量産を開始した。96年東証、大証1部に指定替え上場。2003年11月に大同特殊鋼株式会社が筆頭株主となり、同社のグループに入る。2007年、大同ステンレス株式会社を吸収合併。資本金を50億円とする。生産拠点は国内に枚方工場と東大阪工場があり、タイ、中国、韓国に海外子会社を持つ。

過去最高の売上高達成。「NSR20」でさらに飛躍へ

2018年3月期、主力のステンレス鋼線部門が、販売数量の増加などにより前期比増収となり、金属繊維部門もナスロンフィルターおよび超精密ガスフィルターが好調に推移して前期比増収となった結果、連結売上高は374億51百万円(前期比17.8%増)と過去最高となりました。今後もNSR20に取り組んでいくことで、「さらなる企業価値の向上」を目指します。

連結売上高と経常利益の推移

(FY18は予想値、FY19以降は目標値を記載)

業績(連結)

決算期	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3(予)
売上高(百万円)	33,530	32,162	31,799	37,451	41,000
経常利益(百万円)	2,655	2,530	2,535	4,026	4,200
1株当たり利益(円)	215.2	253.8	288.7	458.7	479.3
1株当たり配当金(円)	10.0	12.0	13.0	80.0	140.0

(併) 2017年10月1日、5:1
 ※1株当たり利益は、2017年10月1日の株式併合が、2015年3月期期首に行われたと仮定して算定
 ※2018年3月期の1株当たり配当金は、中間配当額(株式併合前)10.0円と期末配当額(株式併合後)70.0円の合計
 ※2019年3月期の予想値は、2018年7月26日の公表値

株価チャート(月足)

※最新の株価については [net-ir](http://www.net-ir.jp) (www.net-ir.jp) でご確認ください。

株価チャートは、QUICKデータ(2018年8月31日時点)を基に作成しています。財務データは基本的に連結(配当金のみの個別)の実績直近4期分を記載しており、予想1期分の数値記載については、各掲載企業の任意となっています。また、1株当たり配当金の「特」は特別配当金、「配」は記念配当金であることを指します。業績についての掲載内容は各企業から情報提供を受けて制作したものです。最新の情報についてはご自身でご確認をお願いいたします。(広告特集)

株価 4,370円
 2018.8.31 終値
 単元株式数 100株
 優待品換算金額 2,000円
 通期
 1株当たり配当金 140.0円
 2019.3(予)
 配当利回り 3.2%
 2019.3(予)
 割当基準日 3月末日
 市場 東1

1000~
 2000~
 3000~
 4000~
 5000~
 6000~
 7000~
 8000~
 9000~